4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・お客様サービスの向上

アイドリングストップシステム付きの最新排ガス規制適合車の購入や、西部医療センターの開院にあわせた、バス系統の同センター内の交通広場への乗り入れなど、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。

・活力ある職場づくり

「人財育成プログラム」を試行実施するなど、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

・計画の進行管理

外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため設置した名古屋市交通事業経営健全化委員会を、５月及び11月に開催した。

京都府京都市　京都市高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・収入増加策については、副市長を本部長とする「京都市地下鉄５万人増客推進本部」の下での全庁を挙げた増客の取組の推進、地下鉄開業30周年記念事業をはじめとする沿線での集客イベントの開催、駅ナカビジネスの拡大などを計画どおり実施。

・コスト削減策については、総人件費の削減、高金利建設企業債の借換による利息負担の軽減、経常経費の削減などを計画どおり実施。

・一般会計支援等の拡充については、地下鉄京都駅賑わい創出事業への出資を行うとともに、一般会計からの経営健全化対策出資及び市バス事業への補助金削減分を財源とした高資本費対策補助金を計画どおり繰入れ。(14,344,231千円)

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成30年度（第10年度）
当初計画　A		1,728,774	137,596	2,590,235	3,870,569	6,699,503
解消実績額　B		4,554,145	8,582,715	4,034,069	—	—
現在計画　C		—	—	4,034,069	3,870,569	6,699,503
B－A又はC－A		2,825,371	8,445,119	1,443,834	—	—
資金不足額	30,981,281	26,427,136	17,844,420	13,810,351	9,939,782	—

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3　資金不足比率の状況

（単位：%）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）	平成30年度（第10年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8	96.9	—

京都府京都市　京都市自動車運送事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・収入増加策については、鉄道との乗継利便性向上や観光系統の充実をはじめとする増客に向けた系統・ダイヤの編成、広告付きバス停留所やベンチの整備によるバス待ち環境の向上などを計画どおり実施。

・コスト削減策については、総人件費の削減、バス車両の更新年数の延伸などを計画どおり実施。

・一般会計からの補助金については、生活支援路線補助金、市バスの購入費に対する補助金の縮減を計画に基づき実施。